

那須塩原市まち・ひと・しごと創生総合戦略（時点修正案）に対する
パブリックコメント（市民意見募集）の結果について

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和元(2019)年 12 月 27 日（金）から令和 2(2020)年 1 月 26 日（日）まで
- (2) 意見提出者数 1 人
- (3) 意見件数 9 件
- (4) 提出方法

提出方法	直接書面	郵送	ファックス	電子メール	計
人数	—	—	—	1 人	1 人

2 提出された意見要旨とそれに対する市の考え方

番号	意見要旨	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 戦略なのに、「いつまでに何をやるか」のスケジュールと数値がないのが問題。「努める」「重要」は意味がない。 ○ 平成 27 年に策定した戦略の修正・見直したが、子育て世代、スマホ・SNS 世代の渡辺市長が就任したことで、子育て世代への支援、Wi-Fi 環境の整備やインターネット環境の整備など、情報化戦略への理解があると思う。 ○ 保育の量と質の向上が言われる中、民営化を進めている保育園だが、保育士の働き方改善を図る必要があり、年金生活者の活用など労働環境の整備が必要になる。 ○ 一方で、空き家対策、一人暮らし高齢者世帯が増加するので高齢化対策が重要になる。特に、高齢自動車運転者の免許返上後の生活問題や子供、高齢者、障害者の徒歩や車椅子での移動などの総合交通政策などが重要になると思う。 	<p>本戦略は、人口の現状を分析するとともに今後目指すべき方向を示す「第 1 章 人口ビジョン」と、人口減少に的確に対応し、地方創生を推進するため、平成 27 年度から令和 3 年度までの 7 年間の取組についてまとめた「第 2 章 総合戦略」で構成されております。第 2 章において、基本目標の達成指標として KPI を設定（60・61 ページ）しており、当該 KPI を達成するため、7 つの K に紐づく重点施策を推進するという体系になっております。</p> <p>事業に関する御意見につきましては、今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>
2	<p>【目次】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「16 自治会の加入率の推移」を追加し、防災上や地域コミュニティの問題点を記述してはどうか。 ○ 「17 ふるさと納税の推移」を追加し、財政補填や産業育成の問題点を記述してはどうか。 	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>
3	<p>【P1 はじめに】</p> <p>那須塩原市が目指す目標 = スローガンとして、以下を追記してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「子育て世代が喜んで流入する那須塩原市」 (2) 「IT 環境などを整備した情報都市 = 那須塩原市」 (3) 「高齢者が安心して生活できる那須塩原市」 (4) 「企業が喜んで事業できる那須塩原市」 (5) 「観光客が喜ぶ観光都市 = 那須塩原市」 <p>を目指します。</p>	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>

番号	意見要旨	市の考え方
4	<p>【P51 1 超高齢社会への対応】</p> <p>超高齢社会への対応の記述がブアであるため、以下をそれぞれ追加してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75歳以上の後期高齢者が自動車を運転している現状の記述 ・公共交通弱者のエリアを色分けした市域地図 ・自動車運転免許証の返納者、原付や自転車の運転もできなくなった高齢者が買い物、病院、公共サービスを受けるための公共交通の整備が重要である旨の記述 ・「ゆ〜バス」を最上位に置き、「ゆ〜タク」「タクシー補助券」を下位に置いて、「外出したいときに外出できる」「自宅で引きこもる高齢者を無くす」施策を作る等の記述 	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>
5	<p>【P51 2 コミュニティの再生】</p> <p>「地元離れが進むことにつながります。」の次に以下の記述を追加してはどうか。</p> <p>また、防災の観点や孤独死の観点からも自治会（行政区）などの参加率の向上が重要です。どうやれば参加率が向上するのかを区長や民生委員と検討していきます。</p>	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>
6	<p>【P51 3 「オール那須塩原」による受け入れ体制の構築】</p> <p>「居住環境や、」の次に以下の記述を追加してはどうか。</p> <p>高齢になって車がなくても安心して暮らせる公共交通、情報インフラの整備を推進します。また、</p>	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>
7	<p>【P52 4 シティプロモーションの強化】</p> <p>「交通の要衝」に係る記述に、以下の記述を追加してはどうか。</p> <p>特に東北新幹線の停車駅、上りの始発駅である那須塩原駅、西那須野駅、那須塩原駅、黒磯駅などの東北本線・宇都宮線の主要駅、高速自動車専用線である東北道のインターチェンジなど、観光客、ゴルフ客、通過客の多い特性を生かして。例えば、那須塩原駅の構内（特に新幹線改札内）にふるさと納税のコーナーを設置し、返礼品のPR、納税を簡単にできるパンフレットを置いて、出発時間待ちの市外の方にふるさと納税をアピールして、収入アップを図ると共に市内の産業振興を図ります。</p>	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>
8	<p>【P64 (2)待機児童ゼロの達成】</p> <p>○ 見出しを以下に改めるとともに、文中に以下の記述を追加してはどうか。</p> <p>(2)待機児童ゼロの達成と保育士の働き方改革の推進</p> <p>また、年金受給者の受給額を評価し、最低賃金以下（例えば 500 円/時）の短時間就業（早朝、昼食・お昼寝、夜間・深夜）による保育士の働き方改善、時給アップを国に特区提案します。</p>	<p>今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>

番号	意見要旨	市の考え方
9	<p>【P68 (7)地域公共交通網の充実】 以下の記述を追加してはどうか。</p> <p>市全域を公共交通充実エリアと過疎エリアに色分けして、自動車のない方、免許返納した場合に自由に「買い物」「病院」「公共サービス」「幼保・学校」に行けない地域と交通充実エリアを区別します。</p> <p>地域公共交通網の充実としては、基本的には「ゆ～バス」を整備し、時間に余裕のある高齢者がいつでも「買い物」「病院」「公共サービス」のために歩いて外出できる環境を整備します。</p> <p>まず「ゆ～バス」のバス停を整備し、自宅から500m以内にバス停があるように配置計画を実施しますが、バスの台数にも限りがあるため、ジグザグ遠隔運行を実施し、時間を掛けてでもなるべく多くのバス停を通るように検討する。</p> <p>また、「最大1回の乗り換え」で行きたい場所に行けるように那須塩原駅、西那須野駅、黒磯駅を乗り換えハブ拠点とする。</p> <p>それでも「ゆ～バス」を運行できない地域は、「ゆ～タク」を運行する。</p> <p>更に「ゆ～バス」「ゆ～タク」が配備できない地域には、「タクシー補助券」を配布する。</p> <p>その場合でも障害者、乳母車の親子など交通弱者に配慮した手段を確保します。</p> <p>このように総合体系を整備して、「自動車免許返上者への対応」「自宅引きこもり者対策」「誰でも行きたい所に行ける」対策を図ります。</p>	<p>各分野の事業の詳細については、各分野の個別計画において規定しております。</p> <p>なお、いただいた御意見につきましては、今後、既存の事務事業のさらなる充実や新たな事務事業の検討を進めるうえでの参考にさせていただきます。</p>

※いただいた御意見については、主訴に影響がない範囲で、文言を変更している場合があります。